

令和 8 年 笛吹市議会 第 1 回 定例会の告示に伴う  
記者会見質疑応答（要約）

■ 記者

文化施設の整備検討事業で、青楓美術館に替わる新しい美術館・博物館の整備内容を検討するというのがあると思いますが、同じ一宮町で整備を行うのですか。

■ 市長

一宮町で整備を行っていくと議会において発表しています。

■ 記者

整備に向けてのスケジュール感はどのようにみえていますか。

■ 市長

まず場所の選定があり、現在最終調整に入っている段階です。できるだけ早く議会へ発表できるように、設計・工事を進めていきたいと思えます。

■ 記者

既存の施設を活用する考えはありますか。

■ 市長

青楓美術館を活用することは考えていませんが、新しい施設を建設するのではなく、他の既存の公共施設を改修して活用していく方針です。

■ 記者

時期等については、今後調整が必要ということですか。

■ 市長

場所が決まって、そこからどういうスケジュール感で進めていくのかという話になります。

#### ■記者

笛吹市石和清流館は主にどのような改修を進めていくのか、またスケジュール感を教えてください。

#### ■市長

今、建物に対しての国からの補助金がなかなか付かない状況ですが、なんとか補助が得られ、いよいよ事業化することになりました。

清流館は武道館専用のような施設で、県は別として、他の市町村では持っていない施設になります。

清流館では柔道、剣道、弓道の大きな大会も開催され、また避難所にもなっています。施設利用者から空調を設置の要望等もあり、少し幅を広げて改修することになりました。

交付税措置を入れれば、総事業費の7割くらいを補助していただくことになり、大変ありがたい事業です。

ただ、この補助金は地方創生のため、今までどおりではなく活発に活動しなさいよということなので、山梨学院大学ともう一度提携を結び直して、大学からコーディネーターの方を派遣いただき、その方に新たな大会や合宿の招致をお願いしています。

2月1日からふえふき文化・スポーツ振興財団に着任いただき、人件費も交付税措置となっています。

現在、このような取組をしながら施設整備をして、この武道場を活性化させていきたいという思いです。

総事業費は12億円くらいです。

マットなども買い替え、レスリングも出来るようになりますので、整備後にはこけら落として乙黒さんに来ていただこうかと考えています。

#### ■財政課長

まずハード事業ですが、年度当初に整備工事の入札を行い、議決案件になりますので、6月に議会の議決をいただいて、7月から工事着工、令和9年10月に工事が完了する予定になっています。

次にソフト事業ですが、4月に業務委託契約を行い、6月に出前講座等を開始して、令和9年1月にアスリートによる実技講義、講演会などを予定しています。

■記者

総事業費は12億円くらいでよろしいですか。

■財政課長

総事業費は3年間の総額で11億1400万円くらいを予定しています。

■記者

一昨年の市長選の時に3期目の課題として、保育料と小中学生の給食費の無償化を恒久的に実現させたいというお話があったと思いますが、令和8年度から実際に実現可能となって、新たな課題や取組、次は何を見据えていらっしゃるでしょうか。

■市長

まだ議会で承認されていません。

小中学校の給食費、保育料、保育所の給食費無償の3点セットの恒久化は、山梨県初となります。

まずこの制度をしっかりと実施してからの話になります。

■記者

ふるさと納税の目標額が36億円から49億円に13億円増額され、強化していきたいとの思いがみえますが、それはどのような理由が挙げられますか。

■市長

市の財政に大いに寄与するものなので、とにかく徹底的にいろいろ追いかけて力を入れていきます。

お得感を作ったり、ラインナップを揃えたり等、職員が努力し頑張ってくれているので、13億円増額の49億円を目標としています。

■記者

社会体育施設整備事業についてですが、現在市営温泉の4か所の改修と同じように、市内にある施設を順次改修していくということでしょうか。

■市長

まだ、どこをどのようにするかは言えませんが、既存のグラウンドということであれば、花鳥、清流公園、春日居、桃の里というところが候補地に挙がるので、地域の方々とよく相談しなければなりません。

また、競技専門部の方々にもアンケートを取り、ヒアリングもさせていただいたので、それを最終的に取りまとめて、どういう形で実施していくのかという段階に入っています。

■記者

市営温泉は老朽化が主な理由で改修したと思いますが、社会体育施設を順次改修していく理由を教えてください。

■市長

以前からお話しているように、専門性の高いグラウンドが必要との要望があり、既存のグラウンドをそれぞれ専門性の高いグラウンドへ替えていくということです。

■記者

現時点でどこかの施設が無くなるのでしょうか。

■市長

今ある施設に人工芝を敷くので、無くなることはありません。  
土のグラウンドのため、人工芝に替えていくということです。

■記者

全てのグラウンドをですか。

■市長

全てではなく、先程申し上げた4か所が候補地の一つになりますので、それをこれからどのように改修していくかの計画を作っていきます。

他に八代、境川にも土のグラウンドがありますので、そういうところもどのようにしていくか考えていきますが、全部を人工芝化にするということではありません。

■記者

先程お話しされた青楓美術館ですが、既存の施設を改修して使用していくことが決まっているとのことですが、それはいつ決まったのでしょうか。その方向性を決めたのはいつでしょうか。

■政策課長

文化施設の在り方と整備の方向性については、令和7年9月の議会で考え方をお示しして、取り組んでいくということを説明しています。

■記者

令和8年度は前年度から5.9%増の過去最大規模の当初予算ということで、お間違いないでしょうか。

■財政課長

過去最大ということで間違いありません。

■記者

今回、市長肝いりの事業でもある保育料の無償化と給食費の無償化ですが、資料を見ると市外に通う方にも補助していくということですが、要するに市内にお住いの小中学生と園児たちが対象でお間違いないでしょうか。

■財政課長

市内の学校や保育所に通う子だけではなく、市内の子が市外の保育所等に通っている場合でも、補助金として支援したいということで予算化しています。

■記者

補助することで無償化ということですね。

市内在住の小中学生と園児が対象ということで間違いないということでしょうか。

■財政課長

間違いありません。

■記者

今も対象は変わっていないということですね。

■財政課長

認可外保育所は今まで補助していませんでしたが、令和8年度から新たに認可外保育所に通う子に対しても補助していきます。

■記者

発達支援サービスについては、以前からも無償化していますか。

■財政課長

無償化しています。

■記者

清流館の競技としては武道ということなので、柔道、剣道、レスリングということですか。

■市長

弓道、空手、少林寺もあります。今度はレスリングのマットも購入します。本当にオールマイティーな施設になっていきます。

■財政課長

相撲場も改修を行います。

■記者

保育料と給食費の無償化の関係で、市独自の部分を教えてください。

■財政課長

国の補助については、実際は県から補助金があるわけですが、小学校の給食費の補助については、5,200円×児童数しか補助されませんので、それ以外の部分については全て単費となります。小学校の補助金に関しては、5,200円では現状納まっています。中学校も単費です。

■市長

保育料は3歳から5歳までが国負担、0歳から2歳までが市単です。  
給食費は全て市単です。

■記者

もうすでに補助を行っているのでしょうか。

■市長

時限的に行っています。

■財政課長

令和4年から、その年その年で判断しながら、毎年行っています。

■市長

経済対策で行っていましたが、今回は子育て支援策で恒久的に補助していこうと決断しました。

■記者

現時点でふるさと納税の見込額はどのくらいになりますか。

■企画課長

予算額的には49億円を目指しましたが、45億円前後になると思います。

■記者

どういう返礼品が人気で、どういうところで市のカラーが出せていますか。

■企画課長

返礼品の人気は、やはり果樹になりまして、シャインマスカット、桃になっています。最近は金なども出ている状況ですが、基本的には果樹が人気です。

■記者

金など高騰するものを返礼品にするのはどうなのかという意見もありますが、市としては果樹の強みを活かしていくのか、または稼げるものを返礼品とするのか考えをお聞かせください。

■市長

当然市の売りである果樹は表に出していきませんが、得意なところ以外の部分を一生懸命取り組んでいく必要があります。

ふるさと納税制度について、都市部からいろいろ意見はありますが、我々のような財政状況の厳しい地方にとってみれば、本当にありがたい制度です。

そうでなければ、市営温泉の改修やその他の事業ができません。

「温泉の街 笛吹市」をPRして魅力を高めていこうと思っています。

こういう事業ができるのもふるさと納税のおかげです。

■記者

清流館に設置するエアコンはどのようなものですか。

■市長

埋め込み式です。学校体育館等空調設備整備事業は外出しです。

■記者

外出しエアコンは一部ですか。

■市長

体育館は全部外出しです。

■記者

スポーツツーリズムに関する拠点事業は、新規事業ということでしょうか。

■市長

新規事業です。

■記者

先程から話が出ている無償化の件ですが、令和4年から時限的に実施されているということですが、規模感というか対象年齢などは、令和4年から変わっていないのか、それとも増えているのでしょうか。

■財政課長

保育料の無償化は令和8年度から実施します。

給食費は基本的に変わっていません。

認可外の保育所の給食費の無償化は令和8年度からです。

■記者

対象等が増えている中で、今回が市長の考えている無償化の最終完成形という認識、イメージでよろしいでしょうか。

■市長

そうです。完成形です。

■記者

昨年から熊被害の話があり、熊対策の費用が重点施策に見当たりませんが、その点をどのようにお考えでしょうか。

■財政課長

重点事業はあくまで力を入れて実施する事業となっていますので、通常実施している事業は、今までどおり予算計上させていただいています。

■記者

温泉の改修事業を進めている中で、先日、春日居と御坂の入札が不調となっており、また石和の保育所も不調となっていますが、今後の対応をどのように考えていますか。

■市長

積算を見直す予定です。資材が高騰しており、設計事務所が思っているよりも単価が下がらないところが大きな要因です。設計事務所と話をし、積算を見直し、できるだけ早く進めていきます。

おかげさまで「なごみの湯」は順調で、大変多くのお客様に来ていただいています。市外の方も多く来ていただいています。

家族風呂も好評で、アンケートの中でも「非常に満足している」など、大変ありがたいお言葉もいただいております、作って良かったなと思っています。

温泉の街なので、市も民間も共に一生懸命頑張って、双方で盛り上げて、「美肌の湯」を全国に伝えていく努力をこれからも行っていきます。

以上